

2017年7月28日

報道各位

住友金属鉱山株式会社

## 二次電池用正極材料（ニッケル酸リチウム）増産について

住友金属鉱山株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 中里佳明）は、車載用二次電池の需要拡大に対応するために、二次電池用正極材料であるニッケル酸リチウムの生産設備の追加増強投資を行うことといたしました。

世界的な環境規制強化を背景に自動車の電動化が進む中、長距離走行を可能とする高性能な二次電池の開発、供給に対する期待が市場で高まっています。当社のニッケル酸リチウムはその有力材料として、今後更なる需要の拡大が見込まれる製品です。

当社は、パナソニック株式会社（以下、「パナソニック」）と共同で開発した二次電池用正極材料（高性能ニッケル酸リチウム）の生産拡大を進めて参りましたが、この度、パナソニックのリチウムイオン二次電池生産拡大に伴い、ニッケル酸リチウムの生産設備を持つ磯浦工場（愛媛県新居浜市）の増強により増産することとしました。設備投資額は総額約40億円で、2018年6月完成を予定しています。これにより当社のニッケル酸リチウムの生産能力は、現在建設中の3,550トン/月（当該増産計画は2016年10月26日発表）から4,550トン/月に増加します。

当社は、ニッケル原料の製錬から加工までを一貫して手掛けている強みに加え、二次電池の高容量化に欠かせない正極材料のさらなる高性能化と、車載用材料に求められる安全・安心なものづくりと安定した供給体制の構築に取り組んでまいります。

（本件に関するお問い合わせ先）

広報 IR 部 元木 秀樹

TEL：03-3436-7705

FAX：03-3434-2215